

20 神話と鉄学の道「可部屋大橋」



島根県の仁多町は、古くから製鉄が行われ、『出雲の国風土記』にも記載がある。なかでも上阿井地区では、古代からの製鉄と近代製鉄の中間にあたる角炉での製鉄が行われていた場所であった。

この上阿井地区に歴史資料館の可部屋集成館があり、その進入路として設置されたのが「可部屋大橋」である。

橋の構造は、鋼合成鈹桁を使用し、四方に親柱を立て木材で囲み金具を巻いた。さらに親柱間には鉄製の飾り鎖二本を垂らし、あくまでも鉄にこだわっている。

また、橋の両側にはクロマツやツツジ、庭石などを配し、背後に漆喰・瓦葺き仕上げの塀を建て、日本庭園風のゲート公園を修景事業として設置した。

階段式の護岸整備も行われ、親水機能も配慮されている。

DATA・BOARD 20



- ① 島根県仁多町仁多町大字上阿井
- ② 延長：31m、幅員：7m
- ③ ゲート公園、瓦仕上げの塀
- ④ 鉄筋コンクリート、鋼合成鈹桁など